

府中東高校 2024年度 地理総合 年間授業計画

教科：(地理)科目：(地理総合) 対象：(第1学年)

使用教科書:高等学校 高校生の地理総合(帝国書院)

使用教材:新詳高等地図 世界の諸地域NOW 2024(帝国書院)

教科の目標

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて議論したりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追及、解決しようとするすることができる。

科目の目標

| 【知識・技能】 | 【思考・判断・表現】 | 【主体的に学習取り組む態度】 |
|--|---|--|
| 世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的にしらべまとめる技能を身に付けることができる。 | 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養うことができる。 | 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めることができる。 |

| | 学習内容 | 単元の具体的な指導目標 と評価規準 | 評価方法 | | | 予定 時数 |
|-------------|--|--|------|-------------------------|-----------------------------|----------|
| | | | 知 | 思 | 主 | |
| 1 学 期 | 第1編 1章 地図や地理情報システムと現代世界 1節 球面上の世界と地図 ①目的地への行き方 ②地球上の位置 ③世界の時差 ④世界地図の見方・使い方 ⑤地図から読み取る情報 ⑥デジタル化された地図 ⑦地理情報システムの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの地図の活用事例等から地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫がされていることを理解する。(知・思・主) ・様々な投影法で描かれた地図の特徴と欠点を理解するとともに、球面の地球をを平面に表現する際の特徴と問題点を考えることができる。(知・思・主) ・インターネットを使って様々なWeb地図にアクセスし、新しい地図表現の役割を理解する。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 8 |
| | 2節 国家の結びつきとグローバル化する社会 ①国家の領域と国境 ②日本の領域とさまざまな領土問題 ③国家をこえた結びつき ④交通機関の発達と縮小する世界 ⑤情報・通信で一体化する世界 ⑥拡大する世界の貿易と物流 ⑦グローバル化と人の移動による結びつき | <ul style="list-style-type: none"> ・国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを理解する。(知・思・主) ・現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題について理解する。(知・思・主) ・グローバル化の中で、人・「もの」・資本の国際間移動の複雑化や、国家的結びつきの変化に気づくことができる。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 9 |
| | 第2編 国際理解と国際協力 1章 生活・文化の多様性と国際理解 ①世界の生活・文化を写真でつかもう ②人々の生活に彩りを与える気候 | <ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料から世界の生活・文化を示した図や写真等を探し、世界は地理的環境の影響を受けた特徴ある景観で成り立っていることを学ぶ。(知・思・主) ・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。(知・思・主) ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 6 |

| | 学習内容 | 単元の具体的な指導目標 と評価規準 | 評価方法 | | | 予定 時数 |
|-------------|---|--|------|-------------------------|-----------------------------|----------|
| | | | 知 | 思 | 主 | |
| 2 学 期 | ③「衣」から見る世界 ④「食」から見る世界 ⑤「住」から見る世界 ⑥暮らしを豊かにする産業 ⑦宗教と人々の暮らし ⑧暮らしを楽しむための文化 | <ul style="list-style-type: none"> ・その地域の自然環境と、社会環境の影響を色濃く受けた世界の特色ある生活文化を、さまざまな衣食住の事例を通して学ぶ。(知・思・主) ・世界の特色ある生活文化に関心を持ち、それらが地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたことを学習する。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 11 |
| | 第2編 国際理解と国際協力 2章 地球的課題と国際協力 1節 持続可能な社会を目指して ①持続可能な開発目標 (SDGs) ②地球的課題の地理的な側面 2節 すべての人々の尊厳と平等が守られた社会に向けて ①貧困問題 ②人口問題 ③食料問題 ④持続可能な水の利用 ⑤健康・福祉問題 ⑥教育・ジェンダー問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な開発目標の考え方を学び、地理で学習する地球的課題が教科をこえた探究的な課題につながることを理解する。(知・思・主) ・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、具体的な事例を通して理解する。(知・思・主) ・SDGsの達成に向け、さまざまな主体による国際協力の重要性を学ぶと同時に、企業や消費者における取組を通して、自らの行動を見直すことができる。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 8 |
| | 3節 自然と調和した豊かな社会に向けて ①技術革新と持続可能な産業化 ②限りある資源 ③エネルギー問題 | <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能なライフスタイルの実現には、消費者としての責任ある行動が重要であることを理解することができる。(知・思・主) ・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、新エネルギー開発の必要性について考察する。(知・思・主) ・再生可能エネルギーについてのメリットとデメリットを比較して、持続可能な社会に必要なエネルギー構成を構想することができる。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 6 |
| | 4節 現役世代と将来世代のための地球 ①地球温暖化問題 ②陸地の環境問題 ③海洋の環境問題 5節 平和で公正な社会に向けて ①世界の民族と民族問題 ②世界のさまざまな紛争 ③さまざまな対立の解決に向けて ④国際協力とパートナーシップ | <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題の学習を通じ、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。(知・思・主) ・世界の民族とは、共通の帰属意識(アイデンティティ)を持つ集団であり、世界には多文化社会を構成して多民族が共生している国もあれば、内部に対立を抱える国も存在することを理解できる。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 5 |

| | 学習内容 | 単元の具体的な指導目標 と評価規準 | 評価方法 | | | 予定 時数 |
|-------------|--|---|------|-------------------------|-----------------------------|----------|
| | | | 知 | 思 | 主 | |
| 3 学 期 | 第3編 持続可能な地域づくりと私たち 1章 自然環境と防災 ①地球規模で見る地形の姿と自然災害 ②人々の暮らしを取りまく自然環境 ③変動帯の自然と防災 ④湿潤地域の自然と防災 ⑤私たちができる災害への備え | <ul style="list-style-type: none"> 世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解する。(知・思・主) 自然災害に備えるためには日常の備えが重要であり、減災に向けた地域防災力の向上が重要であることを理解する。(知・思・主) 自然災害の多い日本列島において、生活に大きな影響を与える自然現象や災害の歴史を理解するとともに、災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。(知・思・主) 自らが住む地域のハザードマップを用い、その地域で最も起こりやすいと想定されている災害は何かを理解し、減災に向けて意欲的に取り組む。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 13 |
| | 2章 生活圏の調査と地域の展望 ①地域調査の方法 | <ul style="list-style-type: none"> 地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。(知・思・主) | 定期考査 | 定期考査 プリント・レポート等課題の提出 | プリント・レポート等課題の提出 授業中の取り組み | 4 |
| 合計 | | | | | 70 | |